
機動戦士ガンダムSEED&DESTINY ~もう一つの物語~

桜井 明日香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

機動戦士ガンダムSEED&DESTINY ｝もう一つの物語

【Nコード】

N4004V

【作者名】

桜井 明日香

【あらすじ】

時はC・E・71。オーブ国のコロニー「ヘリオポリス」で、4機のG強奪事件ガンダムが起こった。同じ日、ヘリオポリスにある学校の寮の寮長、アスカは寮の近くにある、林の中でシエルターを見つけ、その中であつたMSモビルスーツを見つけた所から始まる・・・。

登場人物（仮） 1（前書き）

この小説は、作者の妄想が入っています。
並びに、本編とは、少し違う話もあるので気をつけて下さい。

登場人物（仮） 1

名前 アスカ・ブラスト

年齢 18歳

今作の主人公。ヘリオポリスにある学校の寮の寮長をやっている。性格は、面倒くさがりであるが、興味のある物は、飯を食べるのを忘れて熱中する。

裏の顔として、情報屋をやっている。裏の世界では、彼を知らない者はモグリとも言われる程有名。もたらされる情報は、100%本当であり、外れた事は無いと言われている。

機体名 スパークガンダム

形式番号 GAT-001

オーブ国最初のモビルスーツの試作型であり、装甲にはフェイズシフト装甲が採用されている。しかし、操作が難しく、OSも数世代前を使っていた為に、シエルターに隠された。

その後、アスカが見つけ、OSなどの書き換えを、数分で行い、動かした為に、そのままアスカの乗機になった。

登場人物（仮） 1（後書き）

小説書くのは初めてですので、末永く見守って下さい。
よろしく願います。

第一話 新たなG（ガンダム）（前書き）

何とか一話目の構成ができました。
楽しんでいただけたら幸いです。

第一話 新たなG（ガンダム）

どうも初めまして。

俺はアスカ・ブラスト。

このコロニーにある学校の寮の寮長をやっています。
ちなみにナチュラルです。

朝の忙しい時間が過ぎると、少しの間、時間が出来て、その時間を利用して、散歩にでる。

「気持ちいいな、朝の散歩って。」

そういつて歩いていると・・・、

「？、なんだあれ？」

林の中に、光るものがあつたので、その近くまで行ってみた。そこにあつたのは、

「・・・入り口？」

隠されたシエルター？があつた。少し考えたが

「入るか。」

と、あっさり決まった。

シエルターに入り、そこでみた物は・・・

「これは・・・モビルスーツ!?」

そこには、一機のMSが合つた。

アスカは好奇心を押さえられなくなり、そのMSに触ろうと・・・、
ウーッ！ウーッ！ウーッ！ウーッ！

「警報!? すぐに出ないと!」

と、扉まで走り、開けようとするが・・・。

「開かない!？」

扉には鍵がかかっていた。いや、鍵がかかったと言つべきだ。

警報がなると、外からの進入を防ぐため、鍵がかかる仕組みになっていた。

暫くし、MSの所に戻り、そのMSに乗って、動かそうとした。

第一話 新たなG（ガンダム）（後書き）

中途半端ですが、文字数に限りがあったようなので切ります。すぐに第二話の制作にとり掛かります。

第二話 A A（アークエンジェル）（前書き）

第二話です。できれば、アークエンジェルまで行きたいです。

第二話 AA（アークエンジェル）

だがしかし、動かない。

「どうしてだ？どこも不良はないはず・・・って、このOS、かなり前のOSじゃないか！どうりで動かないはずだ。」

OSが古いつて・・・。

「しかたない、やるか。」

と言うと、凄い勢いで、OSを変えていく。彼が愛用しているノートパソコンも、彼が一から組み立て、OSまでも書いてしまったのである。

「これで大丈夫か。後は変換効率や、その他諸々確認してと。」
とまた打ち始める。

数分後

「変換効率も悪かったし、色々削れる所は削ったし・・・ん？GANDAM？」

目の前のモニターには、確かにGANDAMの文字があった。

「まあ良いか。よし・・・いけるか？」

すると、立ち上がりはじめ、シエルター外に出てしまった。すると・・・。

ドーン！

「うわっ！」

いきなり爆風が襲いかかってきたのである。

「今ので穴が広がった！これなら！」

勢いよく飛び出し、近くにいたMSを倒した。

「こいつら、ジンか・・・と言うことはザフトの連中か・・・。」
すると、

「そのモビルスーツのパイロット！お前はザフト軍か？」

「いいえ、ちがいますよ。」

「ならば、その機体は？」
「ここにありました。」

第二話 A A（アーケエンジェル）（後書き）

やっぱり文字数オーバー・・・。一話が長く、終わるまでに何話掛かるんだろう・・・。

第三話 朝以来の再会（前書き）

やっと本編主人公登場か・・・

第三話 朝以来の再会

「お前は私達に敵対するのか？」

「しても意味がないのでしませんよ。」

「ならば着鑑するか？」

「できればお願いします。」

A Aに乗った俺。とそこに来たのは、4人の学生を乗せた、青いGだつた。

「・・・つてお前等か。」

「ちょ！？それは酷くないですか!？」

「まあそれはいいとして。」

「無視!？」

「連れてきたの、キラだろ？」

「な、なんで・・・。」

「早く降りて来いよ。」

「あ、はい。」

「坊主達はコーディネーターなのか？」

「俺は違いますよ。」

「そうなのか。すまない、俺はムウ・ラ・フラガだ。よろしくな。」

「はい。」

こうして、俺達は、終わりの見えない戦いに巻き込まれていった。

第三話 朝以来の再会（後書き）

キラにフラガ大尉、ミリアリア出したけど・・・、誰か忘れている気が・・・。

第四話 後退戦1（前書き）

ようやくまとまった・・・。

第四話 後退戦1

「アスカ！」

「はい、なんですか？」

「こいつの名前、どうするんだ？」

「そうですね・・・。」

こいつとは、X001の事である。

戦場に出る予定も無かったから、当たり前だと思う。

「スパークか・・・。わかった、伝えておく。」

「はい！」

「だ、そうです。」

「わかったわ。」

「艦長！名前を付けさせて良いんですか！？」

「名前が無い物をなんて呼べばいいのかしら？」

「うつ・・・。」

「まあまあ、決まっただからですからいいじゃないですか。」

「前方よりナス力級1隻接近！」

「こんな時に！」

「ストライク、スパークを発信させて！」

「アスカ・ブラスト、スパーク、出る！」

「ジン3機のみ！？・・・。」

「アスカさん！？」

「！、キラ！後方にナス力級1隻！更にイーグリス！」

「え！？」

「ムウさん！キラと共に後方に！」

「ああ！」

「俺は前方の敵をやります！」

第四話 後退戦1（後書き）

長くなりそうなので、一旦切ります。
マリュウさんが少し黒いような・・・。

第五話 後退戦2（前書き）

イザーク達初登場です。たぶん・・・

第五話 後退戦2

「当たるか！」

前方にいた、ジン三機を相手にしながら、その攻撃をかわすスピード、圧倒的な能力の違い。

すでに三機のジンは墜ちていた。

「いけえ！」

「あれは・・・バスターか！」

「墜ちろお！」

「デュエル！、ちっ！」

ガキン！

「なかなか・・・、やりますね・・・。」

「ブリッツか・・・。」

「相手のパイロット、コーディネーターか？」

「どんな敵でも倒す！」

「悠長にはしてられないな。」

アスカの能力は、イザーク達が三人がかりでも、微動だにしない。

「化け物か！？」

「強すぎる！」

「一度後退しましょう。」

「行っただか・・・よし、戻るぞ。」

「大丈夫か！？キラ！」

「あ、はい・・・。」

「相手も引いたな・・・、今から帰還する。」

第五話 後退戦2（後書き）

アスランはもう少し後で。

多分次にラクスとフレイだな。

第六話 二人の少女（前書き）

ラクスとフレイの二人が出ます。

第六話 二人の少女

廃棄されたコロニーから出ると・・・

「あれは・・・。」

「脱出ポッド!？」

「みたいね。キラ君、アスカ君。あのポッドを回収してくれないかしら?」

「わかりました。」

「中には誰が・・・。」

プシュー

「サイ!」

「フ、フレイ!？」

「フレイ・アルスター。サイの許嫁だ。」

「ちょ!アスカさん!なんで知ってるんですか!？」

「細かい事は気にしないで。」

「気にしますよ!」

「こっちには誰が・・・。」

プシュー

「!？」

「てやんでえ!」

「こら、いけませんよ、ピンクちゃん。」

「アスカさん?」

「な、何だ?キラ・・・。」

「この子は誰なんです?」

「何で聞くんだ?」

「多分知ってるんじゃないかと思って。」

「はぁ・・・。この子は、ザフトの歌姫。名前は・・・。」

「ラクス・クラインですね。」

「彼女は一時保護、ザフト軍に会ったら帰すって事でいいですか？」

「何を生温い事を！」

「仕方ないわ。」

「はい。」

第六話 二人の少女（後書き）

ちよつと中途半端だけど終わりで。次回は、アスランがやっと登場。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4004v/>

機動戦士ガンダムSEED&DESTINY ~ もう一つの物語 ~

2011年10月9日14時18分発行